

「青少年からのメッセージ」の募集結果について（報告）

1 事業の目的

毎年、異なるテーマを設けて、青少年（18歳以下）から作文及び漫画・イラスト形式のメッセージを募集し、入選作品を掲載する作品集を作成・配付することにより、自己表現や自己実現の機会を提供して青少年自身の人格形成に資するとともに、地域社会における青少年の健全育成に対する関心を高める。

2 事業の概要

(1) テーマ 本年度は、身近な家族や友達、或いは地域社会や世界のためにできることについて考える機会とするため、「だれかのためにできること」とした。

(2) 規格 [作文部門] 400字程度の文章（440字以内。ただし、小学1・2年生は200字程度の文章でも可）

[漫画・イラスト部門] 1～4コマの漫画・イラスト

(3) 応募資格

市内に在住又は通勤・通学する、小学生から概ね18歳までの者

(4) 募集期間

令和元年6月3日（月）～令和元年7月5日（金）《必着》

(5) 応募結果

作文部門15,467点、漫画・イラスト部門114点、合計15,581点の過去最高の応募があった。

参考：各年度のテーマ及び募集結果

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
テーマ	私にがんばる力をくれたことば	平和な未来のために、私にできること	未来の自分のために今がんばること	電子メディアと上手につきあうには	私を支えてくれる人やもの	だれかのためにできること	
作文	小	2,714	3,765	4,824	4,346	5,023	4,829
	中	6,594	7,650	8,480	8,691	9,024	10,366
	高・一般	425	111	134	364	299	272
	計	9,733	11,526	13,438	13,401	14,346	15,467
漫画	小	108	211	152	658	149	108
	中	26	56	9	2	9	4
	高・一般	4	2	9	6	4	2
	計	138	269	170	666	162	114
計	小	2,822	3,976	4,976	5,004	5,172	4,937
	中	6,620	7,706	8,489	8,693	9,033	10,370
	高・一般	429	113	143	370	303	274
	計	9,871	11,795	13,608	14,067	14,508	15,581

## (6) 選考

- ・ 10月2日(水)に審査委員会〔学識経験者、関係団体等(作文部門10名、漫画・イラスト部門10名:別添名簿のとおり)〕を開催した。
- ・ 作文部門は、「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生・一般の部」別に、漫画・イラスト部門は一括して、入選作品〔作品集掲載作品〕を選考した。

### ○ 入選作品〔作品集掲載作品〕数:合計74作品

- ・ 作文部門 小学生の部:30点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選28点)  
中学生の部:24点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選20点)  
高校生・一般の部:14点  
(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選10点)
- ・ 漫画・イラスト部門:6点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選2点)

### 参考:審査委員の主な意見

- ・ 子どもたちの豊かな心が言葉に表されている。
- ・ だれかのためにしたことに見返りを求めるとかではなく、自分だけの満足感であったり、結果として将来誰かのために役立つんだという思いが表されていた。
- ・ 「平和な未来のために」自分ができることを記したメッセージがあり、とても嬉しく感じた。
- ・ 毎年小学生の文章が上手になっており、特に今回は、自分が何を言いたいかということがはっきり出ていて非常に良かった。
- ・ テーマの対象が、小学生では家庭といった身近なものを扱っているが、中学生になるとさらに広く、地域社会や目の前にはいない不特定多数の人達へと視点が広がっており、中学生らしい文章が書けている。
- ・ 高校生にもなると、自分の将来を視野に入れて具体的な文章を書いている。その点が印象に残った。

## (7) 表彰

- ・ 金賞・銀賞・銅賞の入選者は、11月16日(土)に青少年センターで開催する「第33回広島市青少年健全育成市民大会」において、市長から表彰を受ける。(その他の入選者へは、学校を通じて賞状を授与する。)
- ・ 同大会において、金賞受賞者(4名)の作品発表及び、審査委員長の講評を予定。

## (8) 作品の活用

- ・ 全ての入選作品(74作品)を掲載した作品集を作成し、広島市青少年健全育成市民大会で参加者全員に配付する。また、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を始め、関係部署、青少年健全育成連絡協議会、公民館及び図書館等に配布する。
- ・ 入選作品は、本市ホームページへの掲載や各学校へのデータ配信などを行い、青少年健全育成のために広く活用する。

平成31年度「青少年からのメッセージ」審査委員会委員

区 分	委員候補者	所属・役職	審査部門	
			作文	漫画
学識経験者 及び 有識者	橋本 英 樹	広島市青少年健全育成連絡協議会理事	○	○
	児 玉 真樹子	広島大学大学院教育学研究科教授	○	○
	田 原 直 樹	中国新聞社論説委員室委員	○ (委員)	○ (委員)
	板 倉 妙 子	広島市地域活動連絡協議会会長	○	○
	和 田 勝 恵	日本児童文学者協会会員	○	
	筒 井 恵 淳	日浦中学校長(平成31年度広島市中学校 教育研究会国語部会副部長)	○	
	三 田 真由美	戸坂城山小学校長(平成31年度広島市 小学校教育研究会国語部会長)	○	
	向 川 貴 晃	広島市立大学芸術学部美術学科助教		○
	橋 本 忍	祇園東中学校長(平成31年度広島市中学 校教育研究会美術部会長)		○
	永 瀬 哲 治	青崎小学校長(平成31年度広島市小学 校教育研究会図画工作部会長)		○
行政関係者	広 田 稔 之	教育委員会青少年育成部育成課長	○	○
	池 岡 晴 樹	教育委員会青少年育成部育成課 非行防止・自立支援担当課長	○	○
	橋 本 飛雄馬	教育委員会青少年育成部放課後対策課長	○	○
	13名		10名	10名

(敬称略)